

「朝から夕方まで尿が出ない状況が改善したケース」

登山詩織

男性 39 歳

【主訴】

朝から 1 度も尿がでない。

【具体的内容】

夕方 16 時ごろ、「朝から一度もトイレにいこうと思えない。尿を出したくてお水を朝から二リットルくらい飲んでいますが、尿意がない」と訴えがあった。

【レメディ選択】

Apis

【選択の根拠】

講義でならったことを参考に、基本キットから選択。

「顔がむくんでいる気がする」というお話もあったので、むくみというキーワードから選択。また、普段の生活から、「場所から場所へ飛ぶように」仕事をする特徴があり、まるでミツバチのよう。前日も、あちこち動き回っていた様子も見えていたため。(由井寅子のホメオパシーガイドブック①参照)

【経過】

16 時から 17 時にかけて、Apis を 2 回リピート

17 時半ごろ、尿意があり、尿がでている。

【考察】

とてもわかりやすい症状と反応でした。本人は、皮膚疾患ももっており、皮膚が弱く、乾癬のようなものを持っています。皮膚疾患までの対応にはなりません。そこは「慢性」である可能性が高く、「急性」ではないため難しかったのですが、Apis をとってから、少しかゆみがでているようでした。